



学校教育目標

きらり輝く たくましい子

- ・㊦かよく - 思いやりのある子
- ・㊧しこく - 意欲的に学ぶ子
- ・㊨びのびと - 最後まで頑張る子

あけましておめでとうございます

校長 木村 純

今年（平成30年）は、中野小学校が開校してから40年目を迎えます。開校以来、本校は保護者の皆様から信頼され、地域の方々から親しまれてまいりました。温故知新ではありませんが、今、中野小学校では地域と密着した教育を推進しています。12月には、1年生は地域の皆様をお招きして、生活科の昔の遊びを体験しました。また、3年生は、香取神社に300年近く伝わる獅子舞を出前授業で体験しました。このように、地域の皆様の温かいご支援とご協力をいただく度にひしひしと歴史と伝統を感じます。ありがとうございました。

さて、1月を迎えました。3学期は年度の締めくくりの学期でもあり、新しい年の始まりでもあります。子供たちは、この節目のなかで「今年こそは」と、新しい年の夢を描いたり目標を立てたりしていると思います。「NASAより宇宙に近い町工場」という本の著者植松 努氏は、夢を追い続け、カムイ式ロケットの研究を進め、ロケットを打ち上げた人です。「どうせ無理」の一言で人の持つ可能性や子供たちの夢を否定する世の中に憤りを感じ、北海道の小さな町工場で、誰もが「無理」と考えるロケットの実用化にチャレンジしています。植松氏は、『がまん（我慢）』とはグッと待って次のチャンスを待つことである。このチャンスにやってみること。失敗したときに、「もうダメだ」「自分のせいだ」でなく、「なんでだろう？」「それじゃこうしてみよう」と次のチャンスとして生かしていくこと。それが「本当のがまんです」と述べています。夢や目標に向かって努力し続ける姿勢が、その人を成長させ、大きな成果を生み出しているということだと思います。

子供たちが可能性を磨き、自分自身の目標やめあてを一つずつ達成しながら大きく成長していくように、私たち教職員一同は、子供たち一人一人がこの1年間でどう成長したか、次の年度に期待することは何かを具体的に見だし、希望や目標を高く持って新たな年度に向かうようリードしていきたいと考えます。ご家庭におかれましても、夢や希望についての話題をしていただければと願っています。

今年も、保護者の皆様、地域の皆様のご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。



1月の生活目標

あいさつ相手を見て あいさつや
返事をしよう



東中野獅子舞学習

本校では、毎年3年生が伝統文化継承の一環として獅子舞学習を行っています。今年度も12月7日（木）、地域の獅子舞保存会の皆様のご指導で「踊り」や「花作り」、「楽器」などを学習しました。



獅子舞奉納・東中野香取神社（昨年11月）



「昔の遊び」学習

1年生は12月11日（月）3・4時間目に生活科の学習で「昔の遊び」を体験しました。この日は寿会の皆様にお越しいただき、楽しく教えていただきました。体育館で20種類以上の遊びを楽しむことができました。



書きぞめ練習

校内書きぞめ展の結果選ばれた、3年生以上の選手による市内書きぞめ展（1月20・21日）に向けての練習が始まりました。本校元教諭野口和子先生に今年もご指導いただいています。



なかよし2組教室、2階に変わります

3学期から、なかよし2組の教室（1階）を2階図工室と入れ替えます。本校では来年度以降、学級数が増える見通しであり、現在教室を整備しています。そのため、年度の途中ではありますが、変更することになりました。新教室にはすでにエアコンも設置しました。ご理解のほどお願いいたします。

お知らせ

春日部市特別支援学級ふれあいアート展

- 日時 平成30年1月25日（木）～28日（日）
9:00～16:30
- 会場 春日部市中央公民館2階ギャラリー
（東武野田線八木崎駅下車すぐ 駐車場有り）
- 内容 絵画、粘土、工作、習字、家庭科作品、
技術科作品等の展示
- 費用 入場無料
- 主催 春日部市特別支援教育推進協議会
春日部市教育研究会特別支援教育研究部
春日部市教育委員会
- 問合せ 春日部市教育委員会 指導課